

科目コード
科目名 ソーシャル・ビジネス・プランニング
担当者 (フリガナ) 見山 謙一郎 (ミヤマ ケンイチロウ)
学期/単位数 後期/2 単位
備考

■ねらい・授業内容

拡大や成長を目指した 20 世紀型の価値観が揺らぐ中，“新たな価値観の創造”が求められている。今、ビジネスの世界でも「CSR」、「BOP」、「ソーシャル・ビジネス」などの言葉が溢れているが、いずれも“新たな価値観”の創造作業に他ならない。本講義は、まず「CSR」、「BOP」、「ソーシャル・ビジネス」を体系的に整理することから始め、その後、「ソーシャル・ビジネス」を「社会的な課題をビジネスの手法で解決すること」と広い定義で捉えた上で、日本の地方部における社会的課題（少子高齢化、産業の衰退など）をビジネスの手法で解決する企画立案をゼミ形式で行うものである。

具体的な対象地域として、47 都道府県で最少人口の「鳥取県」を取り上げ、同県の社会的課題を抽出し、ビジネスの手法を用いて解決へと導いて行く。日本の地方部の社会的課題は、今後、日本全体の社会的課題にも繋がって行くものであり、本講義で得られた知見は、今後の我が国が進むべき道標ともなり得る、最先端の事例研究である。

尚、本講義には、第一線で活躍するゲスト講師を数名招く他、学生には鳥取県の行政官等に向けた最終プレゼンテーションを行ってもらう予定である。

■授業内容

- 1, イントロダクション
 - (1) 「CSR」、「BOP」、「ソーシャル・ビジネス」とは何か？
 - (2) 「ソーシャル・ビジネス」の事例と、現状の課題研究
- 2, 具体的事例から学ぶ
 - (1) 鳥取県の現状認識
 - (2) 鳥取県の社会的課題抽出
 - (3) 鳥取県における行政の取り組みと、現状の課題研究
 - (4) 鳥取県における金融機関の取り組みと、現状の課題研究
 - (5) 鳥取県における民間の取り組みと、現状の課題研究
- 3, 最終プレゼンテーション

■成績評価方法

出席状況、講義ごとのリアクションペーパー、最終プレゼンテーションにより評価。

出席状況 (50%)、講義への貢献度 (10%)、リアクションペーパー (10%) 最終プレゼンテーション (30%)

■教科書

特に指定しない。

■参考書

元銀行マンの准教授が語る『「腹に落ちる」環境学』ダイヤモンド・オンライン
バックナンバー：http://diamond.jp/series/miyama_econews/bn.html

■その他

チームディスカッションを必要とする為、講義外での研究時間が生ずることもあり得る。